

第2回 BAMIS フォーラム出張報告(感想)

所属：体育科学専攻2年

氏名：イ ミンチョル

I. 開催概要

開 催：The 2nd BAMIS International Forum

日 時：平成24年2月12日 - 2月14日

場 所：韓国 慶熙大学校

参加人数：100名

II フォーラム概要

初日、韓国の仁川空港に着いてからテルン選手村に行ってみ学した。テルン選手村は韓国のナショナルチームに所属している選手たちがトレーニングをする所で、普段は一般人には公開されないのが BAMIS 参加者として見学できたのはいい機会だった。日曜日だったので選手たちがトレーニングする様子は見られなかったが、各種目に対して、最適のパフォーマンスが発揮できるように施設や装備が取り揃えていた。特に、陸上ホッケーの場合、ロンドンオリンピックの競技場と同じようにグラウンド芝の素材や色を変えていたので印象に残った。世界の舞台でいい成績を残すことは国家ブランドの向上や経済的な価値が高いつて言われているし、国が積極的に支援していることを感じた。今年はロンドンオリンピックが開催されるので韓国選手の善戦を祈る。

二日目は慶熙大学校で BAMIS フォーラムが開かれた。先に、征矢英昭教授か

ら **BAMIS** プロジェクトの紹介とフォーラムの意義が分かりやすく概説され特に、脳科学の歴史や分析に伴う問題、その分子調節メカニズムの解明などについて体育科学の知見から講演した。その後、フォーラムでは「アジアのスポーツ科学の進化」「アジアでオリンピックと選手」「将来有望な研究者の発表」3つのセッションに分れ、日本と韓国の研究者が代わる代わる発表した。我々運動分野で研究する教員や学生の多くは高い関心を持って傾聴していた。それぞれの発表後、質疑応答では、各発表に対して韓国日本からの立場あるいは、各研究分野からの視線で意見が集中し、研究の意義や社会に及ぼす影響に対して活発な意見交換が行われた。

今回 **BAMIS** フォーラム参加は韓国留学生として、筑波体育出身の多くの先生たちと出会いが出来て本当に嬉しかった。この会をきっかけで現在留学している学生と韓国で活躍している先生たちとのつながりが出来て、更なる紐帯が堅くなると思う。私も将来韓国と日本のスポーツ交流や学問発展のため架け橋になるように頑張りたい。